

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。彦根東高校の卒業生として、皆さん一人一人が素晴らしい成長を遂げてこられたことを保護者の一人として大変嬉しく感じています。

振り返ると、皆さんの学年は感染拡大防止による学校生活の変化をものにした学年でした。第一学年最後からの休校措置や、学校生活が再開された第二学年も年末までほとんど休みの無かった忙しい学校生活、さらに東鬼祭の中止、修学旅行の行先変更等がありました。第三学年になっても引き続き感染拡大防止に気を付けながらの部活動や先輩を見て学んだ経験がないままでの東鬼祭の

卒業生へ送る言葉



PTA会長 今村耕二

EXPLORE, DREAM, DISCOVER!!

PTA会長 今村耕二

卒業生の中には、他の学年にはない強さを備えています。今まで当たり前に出来たことが決って当たり前で、これからは血肉となり社会に出て必ず役に立つ、この学年・世代の強みになっていくと信じています。自分達の強さや可能性をどこに信じ、未来に向けて突き進んでいくべきか。



PTA会長 今村耕二

保護者の皆様にはこの3年間PTA活動に多大なご協力を賜りましたこと心より感謝申し上げます。決して満足のいくものと思っておられませんが、PTAとして子どもたちの成長に少なからず貢献

新たなステージでの飛躍を!

校長 青山吉伸

3年間の高校生活、2年間はコロナ禍での学校生活でした。時に活動に制限がかけられたり、時に友達と歓喜の共有を抑制されたり、楽しい一時である昼食を黙って食べたり、そんな困難と言われるコロナ禍の中、お子様は、本日立派に卒業されました。卒業生保護者の皆さま、お子様のご卒業おめでとうございます。

人生の大きな節目となるこの日から新たな一歩を歩まれていくことになり。これからは、自らの責任で自らの人生を切り拓いていかなければなりません。そこにはいくつもの失敗を経験されることと思えます。進

歩、新しいことへのチャレンジ、何かを成し遂げるための創造、こういつたものには失敗は付き物です。失敗という避けたいものとしてマイナスなイメージで捉えがちですが、失敗から学ぶことはとても多いと言えます。ただ、これからの人生、やみくもに失敗すればいいのかというのではなく、失敗してしまっただけで振り返るかが重要です。お子様には大きな可能

PTA

2022年度 新本部役員 決定

今年度最後の常任委員会にて、新本部役員が提案され、右の方々が承認されました。

会長	長沼 寛和
副会長	後援会 長 円
副会長	橘 幸江
副会長	西島 幸子
幹事	花部 由美
幹事	鳥田 真由
幹事	堀 紘江
幹事	木村 健直
幹事	築道 典倫
幹事	向角 養子
幹事	吉野 智子
幹事	谷村 厚司
幹事	成瀬

第70回 全国高等学校PTA連合会大会 — 島根大会 —



配信された分科会では予測不能な社会を生き抜くためのヒントを随所に感じた講演が目立ちました。特に第3分科会では「地域で育む未来への学び」教育の魅力化で活躍する新たな緑と題する江出の御二方によるライブでの公演が予定されていますが、佐野史郎氏とミュージシャン山本恭司氏という松江出身の御二方によるライブでの公演が予定されています。

今大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一年の延期を経て令和3年8月25日に「縁づくり」新たな明日への礎のために「をテーマに初のオンラインで開催されました。記念講演等の全体会は島根県民会館大ホールよりオンラインライブ配信され、事前収録された6つの分科会とともに12月31日までアーカイブ公開もされました。地元高校生のアトラクションも例年通り行われ、全体会では県立松江商業高校吹奏楽部の元気で爽やかなパフォーマンスや県立浜田商業高校郷土芸能部による大迫力の石見神楽「大蛇」が披露されました。また分科会においても県立三刀屋高校演劇部による熱のこもった朗読劇などの動画が各分科会前に配信されました。

記念講演では「小泉八雲がみた日本の魅力」五感でとらえた明治日本のすがた」と題して松江にある小泉八雲記念館館長小泉凡氏により八雲のその新たなステージに

来年度より GS(Global Science) コースを新たに設置

本校は、平成16年度より、先進的な理数教育を通して創造性豊かな人材育成を目的とする「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」の指定を文部科学省より受けています。翌年には、各学年に「SS(Super Science)コース」を設け、自然科学などに係わる取組を行ってまいりました。その間、数学の課題研究が Intel ISEF 2018 で表彰されるなど、数々の成果を得ました。また、多くの卒業生は研究者、技術者ならびに医療関係者として日本にとどまらず世界でも活躍しています。平成29年度からの第4期指定では「世界で活躍できる思考力と実践力を身につけた科学技術系人材育成のための研究開発」をテーマに、イノベーション力とグローバル視点の育成を重要視しています。

さて、現在、世界におけるさまざまな社会課題を解決するために必要な力とはいかなるものでしょうか。本校では、文系・理系の枠を越え、多角的に物事を捉える総合的な学力が必要だと考えております。そのため、SSコースをより発展させるコースとして、GS(Global Science)コースを新たに来年度より設置し、文部科学省の「WWL(World Wide Learning)コンソーシアム構築事業」の指定校となる予定です。

GSコースでは、SSコースで実施してきた課題研究などの取組を継続しながら、海外連携校との関わりを重要視し、教科融合授業、グローバルセミナー、Major Minorリサーチ、ミニ国連などを行ってまいります。例えば、3年前から試行している教科融合授業では、さまざまなテーマ(「感染症」「プラスチックのゴミ問題」「時間」など)について、3~5の教科の視点から俯瞰的・総合的に学習します。(他の取組の詳細については、今後、本校HPにて掲載) また、柔軟な教育課程を編成しており、理系学部のみならず文系学部への進学も可能とし、条件を満たせば世界の大学への進学もできます。

このように、GSコースでは、将来のグローバルリーダーとしての素地の育成を目指しています。

主体性を養う

進路指導課 西野 耕司

来年度の新一年生から新しい教育課程が導入されます。要は知識の伝授の教育から主体性の育成の教育への転換です。主に国語と地歴公民が大きく変わるのと、評価方法も変わります。このような転換にいたる理由には、知識の伝授の教育から主体性の育成の教育への転換です。主に国語と地歴公民が大きく変わるのと、評価方法も変わります。このような転換にいたる理由には、知識の伝授の教育から主体性の育成の教育への転換です。

えられたとはいえず、生徒を受身の存在として、教師の持つ知識や教養を伝授するものとして発展してきてきた。そして、主体的な学習が求められるようになった。これは、主体的な学習が求められるようになった。これは、主体的な学習が求められるようになった。

編集後記
コロナ禍の中、あたりまえであったことがままならず、あたりまえでなかったことをあたりまえとして順応していくことが必要になってきていると思います。先生方や会員の皆さんの知恵を集結し進化するPTAであってほしいと願っている次第です。
末尾ながら原稿にご協力いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。(西川)

彦根東高校 PTA通信

ホームページでの閲覧はこちら!